

伝統構法の架構学と模型実験

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップしながら、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を、本年6月より開講しました。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざすもので、毎週土曜日、半年間の訓練を行ないます。経験等に応じ、「基礎コース」と「応用コース」を設け、今年度は基礎コースから始めます。各コース修了者には、県認定の「信州伝統大工技能評価試験」により、合格者に「信州伝統大工」(1級、2級)の称号が与えられます。今年度は、基礎コース16名、応用コースの受講条件となる入門講座に13名の計29名が受講しています。

この公開講座は、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、受講生の座学を兼ねて、一般市民も参加できるオープンセミナーとして毎月1回開催しています。

第4回は、伝統木構法の第一人者である増田一真氏による特別講座を開催します。

伝統建築に関心をお持ちの若手・中堅職人、事業主、市民、学生など、多くの方々のふるっての参加をお待ちしています。

日時：2009年8月29日(土) 13:00~17:00

会場：建労会館 3F 大会議室(松本市宮淵本村1-2)

受講料：組合員 2,000円、組合員以外 3,000円

定員：40名(定員になり次第締切)

講師：

増田 一真 氏 (株)増田建築構造事務所代表、NPO 伝統木構造の会会長)

伝統木構法の第一人者として、多数の構造設計を实践される一方、「建築構法の変革」、「新伝統木構法」などの著書や、新伝統構法セミナーで著名な増田先生をお招きし、先人達が担って来た伝統構法の智恵を引継ぎ、木構法の新たな可能性を拓く架構計画の方法を学びます。



[1934 広島県生まれ。東京工大卒、1964年事務所設立。2005年NPOを立ち上げ、伝統構法の普及にむけた活動を展開中。主な作品：ICU理学実験棟、筑波第一小学校体育館、天竜原木センター、勝山館跡ガイダンス施設、金沢城菱櫓復元、大洲城天守閣復元など、話題の建物を含め延べ約1200棟を構造設計。受賞：「ものづくり日本大賞・総理大臣賞」、「松井源吾賞」など。著書：「数式のない構造力学」、「建築構法の変革」、「新伝統木構法の展開」、「甞る住文化」など。]



大洲城天守閣再建(ものづくり日本大賞、愛媛)



風の谷保育園(千葉)



彩の国森林科学館(埼玉)



福住地区交流センター(兵庫) 新伝統構法の家と現地実験(長野) さかえ保育園(RC造をクリの木で補強、千葉)

第一部 講演「伝統構法の架構学原理」

木造の基本的な架構原理を整理し、伝統的木組みを未来へと発展させて行くための実践的な構造計画の方法を学びます。

パネル構法や在来軸組構法などの現代構法の欠陥は、第一に素材特性が生かされていない、第二に架構形態の多様な展開がない、第三に建設工法の工夫が見られないことです。

これに対し、日本の伝統構法は、多数の水平材を多用した立体架構型、全部材が抵抗する応力分散型、土壁や落し板、差物による多段抵抗型、石場立てによる免震機構等の特徴を持ちます。すべての柱を曲げ抵抗に動員するなら、壁のない架構も可能であり、大断面材を用いない合成部材による長大スパンも可能です。日頃の皆さんの疑問をお持ち寄り下さい。



応力と架構形態の基本型

伝統構法の実大実験(工学院大)

著書「新伝統木構法の展開」

第二部 実験「伝統構法フレームの簡易構造実験」

様々な架構フレームの1/6模型を用いて、誰でも簡単にできる机上でのミニ実験を行います。これらの実験を通して、各架構型の変形特性を知り、実務への基礎力を養います。

〔フレーム製作：剣持猛雄(番匠剣持工務店、山形県鶴岡市) 実験補助：秋山恒夫(信州職人学校講師、職業能力開発総合大学校東京校元教授)、三浦保男(信州職人学校講師、(有)三浦創建代表)〕



各構造フレームの説明

ミニ構造実験の様子(新潟、佐賀)

申込方法：別紙申込用紙に必要事項を記入の上、8月26日(水)までにFAXにてお申込下さい。受講料は、組合員の場合は申込締切日までに所属組合へ納入して下さい。組合員以外の方は、公開講座当日に受付でお支払い下さい。

主催(申込・問合せ)：長野県建設労連 伝統建築技能継承事業運営委員会
〒390-0864 松本市宮淵本村1-2 建労会館内

長野県建設労働組合連合会 TEL 0263(39)7200 FAX 0263(39)7202